

科目名	人文科学Ⅲ Human Science III			担当教員	権藤 典明 (窓口教員：河野通弘)		
学年	4年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	14120044	単位区分	履修単位
学習目標	現代世界が直面している人口問題と食糧問題、南北問題、資源問題と環境問題および都市問題について基本的な知識を身につけ、判断力を養うことを目標とする。						
進め方	各自で各テーマの基本的な見解を解説していく。各テーマの基本的な資料や補足説明はプリントにして配布するので、よく読み、認識を深めてもらいたい。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	1. 人口問題と食糧問題(20) (1) 世界人口の動向 (2) 開発途上国の人口問題 (3) 先進国の人口問題 (4) 世界の食糧生産の動向 (5) 先進国の農業政策 (6) 戦後日本の農業と農業政策の変遷			人口問題、特にわが国の少子高齢化問題と外国人労働者の受け入れをめぐる問題についての基本的な事項を理解する。食料問題については、特にWTO体制下におけるわが国の食料需給について、基本的な事項を理解する。  現代の世界経済に影響をおよぼしている南北問題について基本的な事項を理解する。現在の世界経済については、世界貿易の特徴とEU・NAFTA・APECについて基本的な事項を理解する。 学習・教育目標：A			
	前期末試験						
	2. 南北問題と世界経済(6) (3) 世界貿易の動向 (4) 地域統合の展開			資源問題については、枯渇資源としての石油資源、再生資源としての水資源を通じて、資源問題に関する基本的な事項を理解する。環境問題については、酸性雨・オゾン層破壊・地球温暖化問題を通じて、これらの問題を考える際の基本的な事項を理解する。			
	3. 資源問題と環境問題(14) (1) 資源問題とは (2) 枯渇資源と再生資源 (3) 地球環境問題とは (4) 酸性雨 (5) オゾン層破壊 (6) 地球温暖化			現代日本の都市化現象、都市問題の一つとしてのインナーシティ問題、および都市計画の例としてのニュータウンについて、基本的な事項を理解する。 学習・教育目標：A			
	4. 都市問題(10) (1) 現代の都市化 (2) インナーシティ問題 (3) ニュータウン						
	後期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	評価は2回の定期試験の成績にもとづいて行う。成績不振者には再試験を実施する。 学習項目の全体評価への重みは、1～4のそれぞれについて35%、25%、25%、15%とする。						
履修要件	特になし						
関連科目	地理(1年) → 人文科学I(4年)						
教材	プリントを配布する。						
備考							